



# 自治連だより

第40号



年頭のあいさつ

鳥取市自治連合会  
会長 土橋 周美

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年を穏やかに迎えにいられたことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、会員の皆様には、日頃よりそれぞれの地域において自治会活動に熱心に取り組み、活力ある地域づくりにご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

近年は、災害が激甚化・多発化しており、昨年も地震や渇水、豪雨、台風などの災害が全国で相次いで発生しました。地域防災力の向上や地域コミュニティの維持・活性化が大変重要であると改めて実感しています。

一方で、人口減少や高齢化などによる役員の担い手不足など、自治会活動を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした中、これらの諸課題に対処するには、地域の連帯感を深め、自治会が中心となって、地域における助け合い、支え合いができる関係の強化を図って行くことが重要になってまいります。

会員の皆様には、本年も自治会活動になお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、地域自治会の更なる発展と皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 湖山西地区

### 地域のつながりの強化に向けて

湖山西まちづくり協議会

会長 山本慶治郎

湖山西まちづくり協議会（以下「協議会」という）は、「湖山西地域コミュニティ計画」を平成二十一年度に策定し、「安心・安全で暮らしやすいまち」「住んでよかったと誇れるまち」の実現を目指して日々活動しています。

令和四年度から、組織を「人づくり人権交流部会」「健康福祉部会」「安心安全環境部会」の三つの部会に編成しました。各部会は、湖山西地域コミュニティ計画の基本目標（八項目）を踏まえて事業計画を策定しています。

「人づくり人権交流部会」では、湖山西ワクワクまつり、西っ子のつどい、生涯学習事業、湖山西教室（三十一種類）、夏休み期間中の夕方・夜間パトロール等の事業を実施しています。

「健康福祉部会」では、グラウンドゴルフ大会、健康ウォーキング、ニュースポーツ体験等の事業を実施しています。

「安心安全環境部会」では、湖山西北岸環境美化活動、交通安全運動、防災訓練等の事業を実施しています。



湖山西ワクワクまつり

広報紙として、湖山西だより（旧「湖山西公民館だより」）を毎月発行、また、「みんなのまち湖山西」を年一回発行しています。

湖山西ワクワクまつりは、十月下旬の二日間（土・日）開催しています。作品展示は、公民館教室、一般、小学校児童、中学校生徒、こども園園児の作品を湖山西地区体育館に展示しています。ステージ発表は、公民館の大・小会議室を会場に、日頃の練習の成果を発表しています。今年度は八グループの発表がありました。また、PTAや子ども会によるヨーヨー釣りや射的もあります。そして、昨年から中学生にボランティアとして各会場を手伝ってもらっており、ステージ発表では司会進行も担当しています。将来に向けていい経験になると思います。



湖山地北岸環境美化活動

湖山西北岸環境美化活動は、グリーンフィールドの遊歩道沿いの草刈りを、鳥取市の春と秋の一斉清掃の前日（土曜日）に年二回実施しています。また、令和四年からは、緑の募金事業交付金を利用して花苗や球根を購入し、遊歩道沿いに植えてフラワーロードとして整備しています。

最近では、地域住民のつながりが希薄になってきています。協議会は、町民運動会、ワクワクまつり、敬老会、地区防災訓練等の事業を実施することにより、地域住民が気軽にコミュニケーションを図れる場所をつくり、安心安全なまちづくりを目指して活動していきます。

**美保南地区**

**地域活性化には「ふれあい、絆」が一番！**

美保南地区区長会

会長 西原 牧夫

美保南地区には「美保南まちづくり協議会」を基点に十七の各種団体があり、その他のボランティア団体を含めれば概ね二十に及ぶ団体があります。地区のため子ども達の育成に協力をいただいています。子ども見守り隊としての『南つ子まもるんじゃー』は協力者六十名を擁し、小学校下校時の見守り安全を日々実施しています。活動は小学校と協議し、下校時間の変更やインフル等でクラス閉鎖があれば、その都度メンバーの皆様にはラインで連絡をしています。

年四回の交通安全運動では事前説明会を開催しています。この会には小学校長や幼稚園・保育園長も参加され、「この地区から加害者も被害者も出さない」を目標に交通安全対策を講じています。

期間中には交通安全広報車のアナウンス録音を小学生に依頼し、広報活動を行っています。

このような地域との関わりを通じて、子ども達には地区の皆さん



信号機渡り初め式での見守り（南つ子まもるんじゃー）

から守られているという意識が醸成され、毎年六年生は卒業前に地区への感謝と恩返しとして地区内清掃を実行してくれます。

美保南地区には四大事業として運動会、納涼祭、敬老祭、文化祭がありませんが、地区誕生の三十九年前から欠かさず開催して来ましたが、やはり地域活性化には「ふれあい、絆」が一番の特効薬で、将来に向かって繋ぐことが大切だと感じています。これらの事業の特色としては、美保南小学校を卒業した南中学校生や、大学生の交流ボランティアが参加し、販売ブースを担当するなど世代を超えた交流をしてきました。

自主防災関係では今年も六月に小学校での避難訓練を実施しました。今回は水害避難を想定し、百二十人規模の訓練を行いました。特筆すべきは受付の際に「要介護者」「妊婦」「病弱者」を把握し、教室ごとに避難箇所を設けたことです。避難器具や用品は宝くじ助成の二百万円の活用である程度は充実していますが、それとて完全ではないので、これからも地区活動費助成で地区への貢献に努力する所存です。

また、今年が目立った動きとしては、鳥取大学の学生から「美保南の地域づくりを学びたい」との申し入れがあり、七月から教授を交えて学生たちの活動や目標についてのヒアリングを重ね、今では各種団体の会合に学生が参加しています。地区としても若者の意見は地区づくりにおいて大変参考になっています。学生の一部からは卒論の題材にしたいとの声も聞こえています。

地区づくり活動に他の地区と大きな相違はありませんが、美保南地区は各種委員の定数不足が生じていないことは誇りと言えます。民生児童委員や交通

指導員、保護司などの委員選出においても定員不足は生じていません。これからはまちづくり協議会を中心に、地域の安全安心を目指して活動を進めたいと思います。

**賀露地区**

**地域の誇り みんなの力で  
つくり上げた校区民文化祭**

賀露町自治会

会長 芥島 寿美



～芸能発表～

賀露町自治会（地区民約五千人）は、賀露町十町内会と南限の計十一町内会で組織し、十九の各種団体があり、それぞれが活発に活動し、安心・安全で明るく住みよい地域づくりに取り組んでいます。

その中でも特に誇れるのが「校区民文化祭」です。本年度は、十月五日（日）に第四十八回の文化祭を開催しました。（昭和五十三年に「公民館祭」として始まり、令和三年より「校区民文化祭」と名称を改めています。）

今年のイベント参加は、団体および個人合わせて四十八組、来場者は約千人に上りました。

文化祭の開催にあたっては、実行委員会を設立し、参加者への説明会の実施、会場環境の整備など、約四か月にわたる準備期間を要します。

また、多くの校区民によるボランティア精神が発揮される場となっており、地域づくりの向上につながっています。特筆すべきことは、中学生ボランティアの活躍ぶりでした。明るく、元気な声で活動する姿は頼もしい限りでした。

**第四十八回校区民文化祭の主な内容は次のとおりです。**

- ・ 屋外模擬店…十三店舗
- ・ イベント…十二企画
- ・ 出展作品…二十三組
- （手芸、絵画、写真、書道、陶芸、小説ほか）
- ・ 芸能発表…十組
- （踊り、コーラス、詩吟、剣舞、ピアノ演奏、伝承芸能「ホーエンヤ節」ほか）
- ・ 大抽選会…一〜八等まで約七十個の景品

本文化祭は、校区民の協力と自主的な運営により円滑に実施されています。今後とも地域の連帯と文化振興に寄与する事業として継続してまいります。



～作品発表～

## 鳥取市自治連合会 町内会長研修会

令和7年7月1日、鳥取市総合福祉センター「さざんか会館」で、地区会長さんや町内会長さんなど、73名に参加いただき、町内会長研修会を開催しました。

講師は米子市旗ヶ崎2区自治会役員の坂本正巳さんで「デジタルで自治会活性化!」と題して、講演をして頂きました。

会員数360世帯の同自治会は一時、次年度の役員のなり手がいないという存続の危機に陥りましたが、2年前に改革に着手しました。それは、事業の見直しと、通信アプリLINE（ライン）を使ったデジタル回覧板の導入です。

事業の見直しでは、参加者のない活動や時代遅れの活動は一旦中止するか廃止。参加者がいる活動や、やらないといけない事業は、やり方を工夫して残す。また、義務を選択にしておき、やりたくない事はやらなくてもいい、やりたい事は自由に参

加できるなど。

回覧板のデジタル化を導入した事で、印刷や配布の手間が減り、認識率をアップさせて、自治会の事を知ってもらい、興味や関心にも繋げました。公式LINEを選んだ理由としては、利用者が多い、登録者のみに配信できる、一方通行の配信が可能、個人情報扱わなくてもいいなど。メニュー欄が作れて様々な情報を、これひとつで提供できる事も選んだ理由です。

デジタル導入後のフォローとして、スマホ教室や紙の回覧板も併用して行っているとのこと。 (文責：森田 松雄)



## 令和7年度 三市姉妹交流会に参加して

初秋というのに夏日が続く9月26日（金）土橋会長以下20名が、岡山県総社市の「国民宿舎サンロード吉備路」にて開催された鳥取・岡山・姫路の三市姉妹交流会に参加しました。この会は鳥取藩主池田公の縁により発足した後、毎年交流を重ねています。



当日は鳥取市から20名、姫路市から24名、岡山市から33名の合計77名の参加がありました。交流会は三部構成となっており、第一部は研修会、第二部は昼食会、第三部は視察研修と進められました。

第一部の研修会では、三市の会長挨拶に続き、来賓の大森岡山市長、田口岡山市議会議長より祝辞をいただいた後、研修会共通テーマの「自治組織の予算について」を岡山市、鳥取市、姫路市の順で発表し活発な意見交換が行われました。

会の終わりには次期開催地である鳥取市から歓迎の挨拶を述べ、その後一同で記念撮影を行い第一部は終了しました。

第二部の昼食会は同会館の大広間で行われ、岡山名物の「ままかり」などの食材に舌鼓を打ち、和やかなうちに終了。

第三部は、会場近くにある旧足守藩主木下家の庭園「近水園（おみずえん）」を見学し、その後、前方後円墳としては全国4番目の規模を誇る「造山古墳」（前長350m、高さ27m～33m）を見学。5世紀初頭にこれほどの規模の古墳を造営した技術等に圧倒され、有意義な三市交流会となりました。その後、来年の鳥取市での再会を誓い散会しました。 (文責：稲田 宗万)

《自宅の片付けなど ごみ処理のご相談は INABAへ》



- 一般廃棄物収集運搬（家庭ごみ・事業所ごみ）
- 一般廃棄物収集運搬（し尿くみとり）
- 産業廃棄物収集運搬・中間処理 他

**因幡環境整備株式会社**

鳥取市用瀬町美成 323-1 ☎0858-87-6668



オフィス&店舗の機器・備品・ウォーターサーバー

本社 鳥取市商栄町221-1

米子 米子市米原4-1-31

倉吉 倉吉市広栄町963



久松地区

住みよい久松地区をつくる会

住みよい久松地区をつくる会  
会長 平井圭介

久松地区は、二十町内会で構成されていますが、その区域は鳥取城跡や県立博物館、県庁などを中心とし、南北約3kmのいわゆる山の手通り沿いに広がる、かなり細長い形をしています。

当会は、地区のまちづくり協議会として、地域の各団体の活動にさらに事業を上乘せする形で取り組みを行ってきました。

特徴的な事業として、「久松山点灯事業」があります。久松山を考える会が中心となり、お盆に東日本大震災などの犠牲者の鎮魂のため、京都の五山送り火にちなんだ「大」の字を山頂に点灯。年末年始には、その年を表す一字を選んで二ノ丸石垣に文字を浮かび上がらせています（いずれもLEDラ



大文字点灯準備

イト)。

今年度は、からは、市の一括交付金制度に呼応し、公民館が行う生涯学習事業とまちづくり協議会が実施するまちづくり事業を一本化しました(組織と予算を統合)。これにより市からの助成の総額が増えるものではありませんが、事業費の配分は地域に権限が委ねられ、そこが最大のメリットと考えています。



年末年始の点灯「創」

当地区は住宅が密集しており、かつては人口も多かったのですが、育った子の世代が親と同居せず他に出て暮らすようになったため、人口減少や高齢化、空き家の増加はかなりの速度で進んでいます。町内会活動への関心の低下もあって、地域の組織の運営はほとんど困難になっていると感じています。

そのような中、一括交付金の活用によって活路を見出し、思っています。高齢化への対応、災害への備えなど喫緊の課題は多く、策定から十年以上経過した地域コミュニティ計画の見直しと合わせて取り組む必要があると思っています。また一方で、それら地域課題への対応だけでなく、鳥取城跡や山の手広がる寺社仏閣など自然や歴史・文化資源を生かし、地域の魅力を発信していくような積極的な

取り組みをさらに進めることができないうものかと思案しています。一括交付金移行による会の再スタートを機に、積極的に事業を展開できたらと考えています。

鹿野地区

地域とつながる  
小鷲河地区防災運動会

鹿野町自治会長会  
会長 三谷裕之

鹿野町の秋の大作事に町内三地区で同日に開催される地区運動会があります。平成十三年に小学校が統合された後も、地域の賑わいの場として大きな役割を果たしています。

統合後二十年以上が経過し、私が属する小鷲河地区では運動会に参加される児童や生徒だけでなく大人の数も減少しており、運動会は少子化、高齢化の進行を目的にする機会でもあります。

この地区では地区公民館が中心となって運動会を企画し、地域住民で運営しているところですが、企画の際、小さい人数の制限から参加者を集められないといった事情を



防災〇×クイズ



防災担架競走

考慮し、幾度となく種目の見直しを行なってきました。

コロナ後、一昨年度から「防災運動会」と銘打って、消火器やバケツを使ったりレーや、防災に関するクイズを取り入れるなど、運動会に参加される地域住民の皆さんが楽しく防災知識を学び、参加できる機会として企画、運営されています。

今年の十月五日には雨天のため他の二地区が運動会を中止するなか、旧小鷲河小学校体育館に会場を移して開催し、皆さんが楽しい時間を過ごすことができました。

火災や土砂災害など、いつ起こるか分からない災害には日頃の備えが必要です。少子化や高齢化が進行しても、そこに暮らす住民が地域を守っていく取り組みは欠かせません。小鷲河地区防災運動会は、取り組みの一つとして有効な企画だと思います。

# 令和7年度 研修視察報告

令和7年度の鳥取市自治連合会研修視察は、10月30日、31日の2日間、中国地方の「西の京」山口市を土橋会長以下19名が訪問し、山口市の概要及び白石地域からの事例発表をうかがい、意見交換を行いました。

事例発表では、役員のみならず手不足問題解決に取り組んだ東白石自治会から「業務仕分け、平準化による自治会役員確保の取り組み」について紹介がありました。解決策として、

○ステップ1：「自治会の主な業務と業務分担」を整理し「見える化」することで、会員に理解を広げる。（会長・副会長の仕事内容が一覧表にまとめてある）

○ステップ2：会長、副会長他の役員の仕事分担調査表を作成し、会長経験者等による「役員補佐」を設けることで、役員の選任がスムーズになった。

結果として、役員業務の軽減が図られ、また改選時には役員への立候補も得られるようになるなど効果が見られたとの説明には驚きがありました。役員のみならず手不足はこの自治会でも頭を抱えている問題だと思

います。今後の自治会活動を考えるうえで大きな示唆に富む内容だと思われました。

第2の事例として、「白石地区の防災の取り組み」について報告がありました。

### ○自主防災組織の普及方法

- ・市内の町内会をモデル自治会として選定し、先行して組織を設立することで近隣の自治会に波及させる。
- ・地域内に防災士を普及させて、防災士を中心に地域に防災活動を広めていく。

### ○自主防災会の活動事例

- ・月1回程度、自主防災組織実行委員会を開催し、開催を予定している救命救急講習会や防災講座並びに防災実働訓練等の協議を行っている。

以上のような活発な防災活動が展開されていることに感心しました。これらを支える防災士や地区住民のみなさんの努力に敬意を表したいと思います。

（文責：山本 孝久）



## 令和七年度 全国自治会連合会富山県富山大会に参加して

令和7年度全国自治会連合会富山県富山大会が、令和7年10月23日に富山市の富山国際会議場で開催され、全国より650名が参加し、鳥取県自治会連合会からも6名が参加しました。

式典は、北岡大会実行委員長の開会のことばで始まり、岩崎全国自治会連合会会長、新田富山県知事、藤井富山市長のあいさつ、高市首相の祝辞メッセージが披露された後、大会宣言（案）が井上全国自治会連合会副会長より読み上げられ、満場一致で採択されました。



続いて、全国自治会連合会会長表彰が行われ、95名が受賞されました。鳥取市自治連合会西原牧夫副会長もこの表彰を受けられたことは大変名

誉に思います。また、叙勲受章者では全国自治会連合会推薦の令和6年秋と令和7年春の受章者、10名も発表されました。

記念講演では、富山大学名誉教授竹内章氏が「迫る南海トラフ地震と富山への影響 — 正しく恐れ、しっかり備えよう —」と題して、過去の中部3大地震の様子を詳しく説明し、「富山では地震は起きない」という勝手な思い込みは捨て、歴史と科学に基づいた備えを進め、地域全体で防災・減災・そして事前復興の取り組みを進めることが重要だと語られました。

続いての活動発表では、井波地域づくり協議会が「次代へ繋ぐ地域づくり活動」と題して、過疎の町の地域づくりの取り組みを、富山県上市町稗田町内会が「ICTを活用した町内会の取り組みについて」を発表されました。

今回の全国大会は、香川県で開催されます。

（文責：土橋 周美）



# 白兔生姜®

お求めは、各ネットショップにて  
カイズファーム 検索



鳥取県産ブランド生姜を使った生姜専門店  
カイズファーム (中央印刷株式会社) 〒689-1121 鳥取県鳥取市南栄町34番地  
TEL.0857-50-1112 <https://www.kais-farm.com/>

手をとりあって共につくる住みよいまちをめざして

## 社会福祉法人 鳥取市社会福祉協議会

〒680-0845 鳥取市富安二丁目 104-2(さざんか会館)



Instagram



公式  
ホームページ

活動やイベントなど、様々な情報をお届けしています

**若葉台地区**

**今求められるポジティブ・  
シュリンク（賢く縮む）の実践**

若葉台地区自治会  
会長 **下地正之**

全国的な少子高齢化および、相次ぐ町内会・自治会の退会により、運営の舵取りが年々難しくなっている昨今、当若葉台では本年度より大幅な組織改革と行事の統廃合を行い、歯止めをかけるべく対策を本格的にスタートさせた。

まず特に若い世帯の意見を広く聞き取り、行事の強制的参加や、会議のための会議等、過剰な役員負担や時間的拘束の長さ、さらには高額な町内会費に不明瞭な会計等、現状の問題点を洗い出したうえ、ひとつずつ丁寧に自治会とまちづくりが協力し、取り組んだ。

具体的には地区の二大行事である、夏祭り  
と文化祭をひとつのパッケージとしてとらえ、青少年育成および小学校PTAと連携し、拠点  
を小学校に移したうえ、それまで外部委託に  
していた飲食を各町区に割り当てる等、内容  
を入れ替えコンパクトに集約した。結果、かか  
る日数を半分に抑えそれまであまり協力的で  
なかつた現役世代の参画も増え、さらには地域  
の新たな繋がりも芽生えることとなり、新生  
夏祭りにおいては約八百名の参加と、近年にない  
活況を呈し地域の起爆剤となった。

その他行事でも例年どおりの悪しき習慣は  
捨て、同じジャンルの行事や費用対効果の薄い



お化け屋敷



夏祭り



文化祭芸能発表

ものは極力廃止し、事前の会議も含め年間を通じての役員負担を大幅に削減した。

次に組織改革については、まず、まちづくり協議会の専門部門を、すべて取り払いひとつにし、役員数を減らしたうえ、構成員も半分にする等スリム化した。なお自治会については来年度、本格的に着手する。

これら案件を解決することにより、役員的大幅な負担減と予算の効率化が可視化され、今まで自治会・町内会運営に否定的だった意見も、概ね減少傾向になりつつある。但し、まだ道半ばであり、来年度、再来年度とさらなる改革を進め、次世代に繋ぐべく努力を重ねていく。

**祝 総務大臣表彰**

**新 潤一**

元鳥取市自治連合会副会長  
(現稲葉山地区会長)

長年住民自治活動の推進にご尽力された功績により、令和七年度自治会等地縁団体功労者総務大臣表彰(全国自治会連合会推薦)を受賞されました。

**後記**

自治連合会は、鳥取市四十一地区の地区会長が年間六回集い、地区会長会を開催しています。地区会長は鳥取市からの要望や伝達などを、それぞれの地区に持ち帰り、地区の町内会長さんや区長さんと話し合い、意見交換を行っています。今の地区会長会や自治連合会は、鳥取市からの一方通行のように思えます。地区会長会から出た意見を、自治連合会を通して、今以上に、鳥取市に提案するべきだと思いません。

(広報委員長 森田 松雄)

**Yamata**

ヤマタの家、鳥取の家。

